



道の駅よこはまエリア地方創生拠点形成 H29年度取り組み予定

資料 2



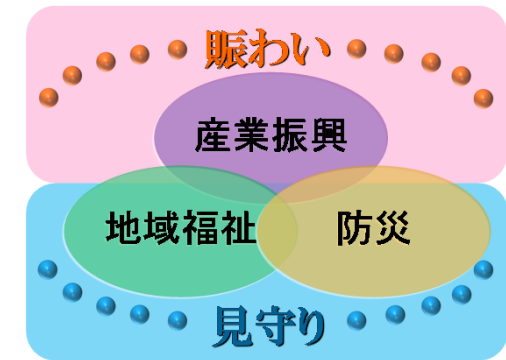
平成29年10月20日
横浜町・青森県

道の駅よこはまエリア
地方創生拠点完成イメージ

道の駅「よこはま」エリア地方創生基本計画の概要

- 道の駅「よこはま」を含む周辺エリアを地域資源として捉え、“**賑わい**”と“**見守り**”を基本コンセプトとする「**産業振興**」+「**地域福祉**」+「**防災**」の3機能を有する「**地方創生拠点の形成**」を目指す。
- 横浜ICと道の駅「よこはま」エリアとの連携**により、**下北半島縦貫道路の休憩・情報施設**としての活用を図る。

※道の駅「よこはま」エリア・・・小中学校やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設が集積する道の駅を含めたエリア。既存施設の有効活用が可能。



“賑わい”と“見守り”を基本コンセプトとして、3機能を有する「地方創生拠点」の形成

賑わい

産業振興「道の駅」 ⇒ 交流人口の拡大・地域経済の活性化

- ① 地域間や産官学と連携した観光企画の強化
- ② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり
- ③ 地域の特産品によるオリジナル商品開発・ブランド化
- ④ 集荷サービス等による直売所の充実



見守り

地域福祉「道の駅」 ⇒ 安全・安心な住民サービスの提供

- ⑤ 高齢者など住民への宅配サービス
 - ⑥ 道の駅への送迎サービス
- 【集荷・宅配サービスと同時に見守り・声かけの効果も】



防災「道の駅」 ⇒ 地域防災力の強化（広域防災の後方支援）

- ⑦ 災害時の受け入れ体制づくり
- ⑧ 防災訓練やPR活動を通じた住民の防災意識の醸成



施策① 観光企画の強化

取組の方向性

駐車場の拡張により大型車両が立ち寄りやすくなる契機を活かし、観光客や来訪者を増やす企画提案や受け入れ体制づくりを行う。

計画の内容

- 観光ルート、観光企画の提案
- 産官学と連携した観光素材発掘（横浜町ファンづくり）
- 受け入れ体制の充実
- レストランの魅力アップのために加工グループとコラボ



○昨年度の取り組み

- プラットホームの開設
- 菜の花の時期、周遊観光ルートへ追加
- おいらせ町にある(株)Jサポートから講師を招き、道の駅において、接客研修を実施

○今年度の取り組み予定

○観光ルート、観光企画の提案

- インターンシップの受け入れによるレストランの改善
- 函館アフターデスティネーションキャンペーン実施
- 広域連携パンフ作成
- レストラン視察



インターンシップの大学生からレストランへの提案の報告会



【提案】手書きメニュー

- その他、イベントやビュッフェ形式での提供を提案。



「べこもち」



「星形米粉クッキー」



「星形 菜の花ひとくち生はちみつ」

青函観光キャンペーン商品（新商品）の販売

五稜郭のイメージで、星形の商品を販売。北海道からのお客様に対して、友好的で好印象を与える企画となり、道の駅のイメージアップにつながる。

《レストラン視察予定場所》



「あ・ら・伊達の道の駅」（宮城県）



道の駅「上品の郷」（宮城県）

上記の道の駅のレストランでは、ともにバイキング形式を採用。衛生面を含む運営方法等について研修する予定。

○受け入れ体制の充実

- 今年度設置される電子看板用の観光PRデータの作成（観光動画等、タッチパネル表示対応データ）



（電子看板イメージ図）

施策② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり

取組の方向性

道の駅と三保野公園、交流館を活用し、ゆっくりと滞在できる環境を整備し、道路利用者や地域の方々に賑う空間を創出する。

計画の内容

- 三保野公園や交流館の利活用
- 高齢者はじめ来訪者が休憩できる空間づくり
- イベントや催事などの企画の充実
- レストランの魅力アップ【再掲】



○昨年度の取り組み

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントを開催

今年度、実施予定イベント

実施月	開催(予定)日	イベント名	イベント概要	消費販促品	担当団体
1月	2017/1/14	新春子供もちつき踊り大会	もちつき踊り	豚汁	道の駅
2月	2017/2/12 2017/2/13	バレンタイン 義理も告白もあなたの代わりに手作りチョコ	バレンタイン手作りチョコ菓子の販売		ルアラル
3月	2017/3/12	ホタテ稚貝フェア	稚貝の大袋販売	稚貝の味噌汁	ブルーマリン
4月	2017/4/9	変わりだね 菜の花ドーナツ	菜の花ドーナツのアレンジ販売	ドーナツアイス	JA女性部
5月	5月連休	菜の花フェア	菜の花プレゼント		道の駅
6月	2017/6/18	ホタテの日	ホタテ即売	ホタテ汁	ブルーマリン
7月	2017/7/22・23	「菜の花市」	野菜の直売 シャカシャカボン菓子		なたねの会
	2017/7/23	新みつ 絞たて生はちみつ試食即売フェア	試食即売 はちみつが絞れるまでの話や写真で説明		澤谷養蜂店
9月	2017/9/17	じゃがじゃがフェスティバル	じゃがいも詰め放題 毛まめ詰め放題 じゃがいも料理提供	ジャガイモのスープ チーズ入りいもち 煮ころがし の3種盛	なたねの会
10月	2017/10/7・8	「菜の花市」	餅つき 野菜の直売 かぼちゃを使った加工品販売	かぼちゃのすいとん	なたねの会
	2017/10/8	ハロウィンだよ! かぼちゃ祭り	大きなカボチャの重さ当て かぼちゃに顔を書いてみよう!	かぼちゃのスープ	なたねの会
11月	2017/11/26 (予定)	今年も長芋採れました	長芋箱売り	地方発送受け付け	
12月	2017/12/10 (予定)	クリスマス クッキーアイシング体験	道の駅のクリスマス飾り	ツリーパン クリスマスシフォン	ルアラル

毎月内容の違う催事を行うことにより、数回訪れているお客様にとっても、「何か催し物をやっているか、今日もちょっと立ち寄ってみようか」という気にさせてくれる企画となるよう各団体協力のもと、工夫し実施している。

○今年度の取り組み予定

○イベントや催事などの企画の充実

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントを開催



ポン菓子実演



ホタテ三昧フェア
(6月)

「菜の花市」はちみつ
試食即売(7月)



菜の花ドーナツ
のアレンジ販売
(4月)



ハロウィンだよ! かぼちゃ祭り
(10月)

ジャガイモ料理
の3種盛(9月)



施策③ 特産品による商品開発・ブランド化

取組の方向性

・これまでの開発した商品のPR活用と、専門家や地域と連携した「地元の食材を活かした商品開発・ブランド化」を推進する。

計画の内容

- ・魅力ある商品開発（6次産業化の強化）
- ・PRや売り場の工夫・改善



○昨年度の取り組み

- ・商品ラベルを刷新
- ・野菜乾燥機を購入し、乾燥野菜の販売を開始
- ・ほたて焼き（新商品）を下北ブランド研究所に相談しながら開発
- ・商品の紹介方法を改善 魅力ある商品づくりに勉会を
- ・道の駅の売り場にお買い物カートを3台設置

○今年度の取り組み予定

○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- ・専門家の助言を受け魅力ある商品開発検討会及び勉強会開催
- ・より良い加工品づくりのため大学生と担い手との意見交換
- ・マーケティング調査のためのイベント出展

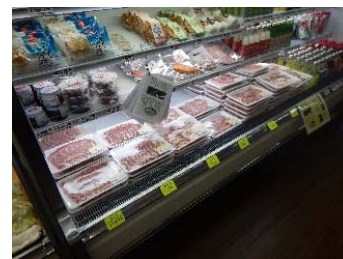


地元加工品の説明を受ける大学生

ほろよい豚バーガー



御なたね油の
バーニャカウダ



毎月29日に「ほろよい豚」販売（6次産業化）



にんじんゼリーは、POP表示をしたら、売り上げが増に！



○PRや売り場の工夫・改善

- ・POP講習会を実施（H30.1.22開催予定）日本全国でセミナーを開催している人気講師による実践型の講習会。
- ・POPによる商品アピールと、町のゆるキャラの設置による売り場の雰囲気づくり



イベント出展（9月）

「はこだてグルメサーガス」
この他、11月と12月に東京都で開催のイベントに出展及び視察研修を実施する。



取組の方向性

道の駅の目玉「産直」の扱う品目と品揃えを充実し、来客数増加と地域産業の活性化を図る。

計画の内容

- 売り場の工夫・改善【再掲】
- 集荷サービスの提供



○昨年度の取り組み

- 産直・野菜の勉強会実施（なにが売れるのか）
- ぐるっと隊による農家への売れ行き好調野菜の情報提供
- 野菜集荷のニーズ、サービス料金の調査を実施
- 野菜栽培技術や農薬について勉強会3回実施



借上車にぐるっと隊のマークのマグネットを張り、集荷サービス実施

○今年度の取り組み予定

○集荷サービスの提供

- ぐるっと隊（2名）で、車両借り上げ使用し、週3回稼働。



○売り場の工夫・改善

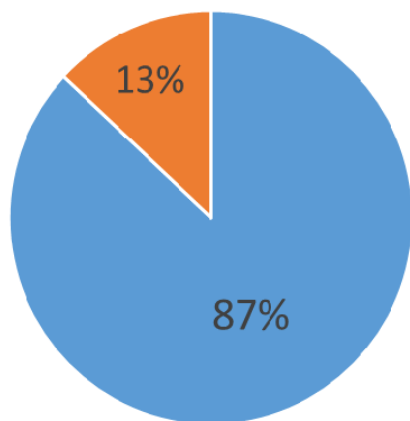
- 野菜の種類ごとの陳列の実施。
- 道の駅に来る環境づくり（絵画の展示）



種類別に陳列された野菜直売所

8・9月の集荷サービス利用

（稼働日数21日）



■ 高齢者の利用（20件） ■ 65歳未満の利用（3件）



コンテナに入れ集荷した後、販売表示ラベルを作成し、貼り付け、並べる作業まで行うため、高齢者にとって労力と煩わしい作業がなくなるためよく利用されている。



また、農作業や漁業の繁忙期にも、出荷可能となるため、売り場の品薄の改善にも効果あり。



子供たちの絵を飾り、書いてくれた子に加工品引換券（写真右）を配布することで、町民の道の駅利用促進を図る。

施策⑤ 高齢者など住民への宅配サービス

取組の方向性

一定のニーズがあり、今後も増加が見込まれることから、既存サービスとの棲み分けや連携を考えながら、実証実験で導入を検討する。

計画の内容

- 宅配サービスの提供
- 宅配サービス先の拡充調査



○昨年度の取り組み

- 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配（無料）
- 温泉や役場ロビーで移動販売を実施（無料）
- 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達（無料）
- サービス料などについて、利用者へアンケートを実施

○今年度の取り組み予定

○宅配サービスの提供

- 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配（無料）
- 温泉や役場ロビーで移動販売を実施（無料）
- 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達（無料）
- 高齢者の利用者については、利用状況を把握し、見守りを実施



週に1回「よこはま温泉」で、高齢者が利用する時間帯に、移動販売実施。



売れ筋傾向

役場：パン類
温泉：野菜、もち

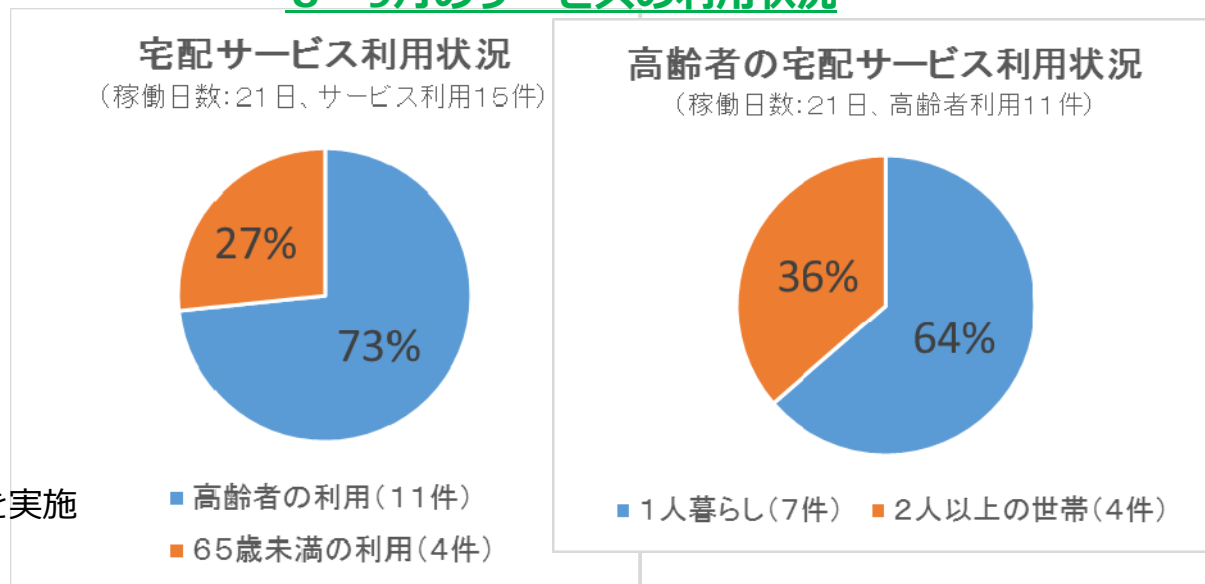


彼岸団子の宅配サービス実施。



昨年度の試験運用の感触をもとに商品の入れ替えをした商品カタログチラシを、広報誌とともに配布し、宅配による冬場の売り上げ増に繋げる。

8・9月のサービスの利用状況



8・9月の移動販売の高齢者利用人数調べ

移動販売実施(日数)	16
うち 高齢者の利用(人数)	169

社会福祉協議会からの要請により、高齢者が集まる場「いきいき教室」開催時、移動販売を3地区で実施し、多くの方に利用いただくことができ、また、移動販売や宅配サービスのPRができた。

施策⑥ 道の駅への送迎サービス

取組の方向性

高齢者のニーズが高く、手にとって商品を選び・楽しみたいという声も多いことから、類似サービスや競合店舗と共存できる送迎サービスを構築。

計画の内容

- 送迎サービスの提供（高齢者への声かけ、見守りサービス含む）



○昨年度の取り組み

- 温泉&お買い物バスを金曜日限定の隔週で10月~12月まで試験運行
- 利用者へのアンケート結果（10月の利用者28名）

○今年度の取り組み予定

○送迎サービスの提供

送迎サービスの提供（4月から本格的運行開始）

道の駅で買い物を終えて ▶ 乗り込む利用者の様子



◀ 役場での用事するために、送迎サービスを利用。

バスの運転手の聞き取りによると、「みちのく銀行前」での乗り降り者が多く、道の駅での乗り降りは、月に10名程。

寄せられている意見

- 道の駅のイベント開催時にも、送迎バスを実施してほしい。
- 買い物等する時間が足りない。
- 日用品が売っていないため、あまり来ることがない。

平成29年4月からの老人福祉センターバス運行時間が変わります！

★バスの利用できる人は、70歳以上の方になります。お風呂無料券もご利用できます。

「横浜町老人福祉センター所長」

北地区（月曜日）		本町地区（火曜日）		南地区（水曜日）	
乗降場所	時間	乗降場所	時間	乗降場所	時間
佐賀商店さん前	9:50	トレーニングセンター前	9:40	笹野和男さん宅前	9:30
有楽バス停	9:52	石崎正敏さん宅前	9:44	鳥山真人さん宅前	9:38
善沢バス停	9:54	旧よこはま保育所バス停	9:46	老人憩の家前	9:39
大豆田バス停	9:56	緑町バス停	9:47	小笠原猛さん宅前	9:41
二本石次郎宅前	9:58	旧農協スタンド前	9:48	ちどり町入口	9:42
松本北バス停	10:00	新丁バス停	9:49	中吹越バス停	9:44
白浜源治さん宅前	10:01	青い森信用金庫前	9:50	吹越バス停	9:46
ふれあいセンター 急	10:05	新町バス停	9:51	旧南部小学校前バス停	9:47
		塚名平バス停	9:52	外井礼吉さん宅入口	9:48
		大澤商店前	10:00	旧中山キヌさん宅南側	9:50
		ふれあいセンター 急	10:05	入谷タケさん宅前	9:56
				向沢入口	9:58
				島山岩三郎さん宅前	10:02
				向平北バス停	10:03
				ふれあいセンター 急	10:05

◀ 町内巡回バス時刻表 ▶ お買い物や銀行等の用事利用

ふれあいセンターから役場前	10:08	ふれあいセンターから役場前	10:24
みちのく銀行前	10:09	みちのく銀行前	10:25
農協前	10:12	農協前	10:26
道の駅	10:18	道の駅	10:32
ふれあいセンター 急	10:22	ふれあいセンター 急	10:36

★ふれあいセンターからの移動で上記の場所へ乗降りができます。
 ★町内での用事や、買い物をして温泉利用も可能になりました。
 ★編りは、全地区ふれあいセンター（13：45出発）になります。

お問い合わせ先
 よこはま温泉 TEL78-6531
 役場健康福祉課福祉G TEL78-2111（内線221）

施策⑦ 災害時の受け入れ体制づくり

取組の方向性

- 道の駅エリア内の各施設において災害時の受入を想定して、必要な防災機能を確保する。
- 避難生活に対応できる備蓄を行う。
- 災害時に防災拠点としての機能できるよう、各施設間の連絡体制・受け入れ体制を構築する。

計画の内容

- 災害時の役割分担と防災機能強化
- 食料及び生活必需品等の備蓄
- 連絡体制等の構築



○昨年度の取り組み

- ハード整備のための住民説明会、事業説明会の開催、用地関係調査の実施

○今年度の取り組み予定

○防災機能の強化

- 用地買収、測量・設計の実施



▲測量の様子

○連絡体制等の構築

- 関係機関との協議を開始

事業内容 道の駅よこはまエリア地方創生拠点のハード整備イメージ

⑤ 防災備蓄倉庫
④ 非常用電源設備
③ 防災除雪ステーション
① 駐車場の拡張

至 むつ市
至 青森市

給食センター
横浜小学校
防災備蓄倉庫
三保野公園
道の駅よこはま 東の花プラザ
休憩施設・トイレ
情報提供設備
防災除雪ステーション
ヘリポート
（仮称）横浜 インターチェンジ
交流館とんどりの里
惣菜加工棟
特産品加工センター
国道279号
下北半島縦貫道路

○事業の概要

- ① 駐車場拡幅
- ② 休憩施設、トイレ
- ③ 防災除雪ステーション
- ④ 非常用電源設備
- ⑤ 防災備蓄倉庫

施策⑧ 防災訓練やPR活動を通じた防災意識の醸成

取組の方向性

- 災害時に地域が適切な対応ができるよう、防災訓練や意識啓発を行う。

計画の内容

- 道の駅エリアを活用した防災訓練
- 防災に関する意識啓発



○昨年度の取り組み

- 南地区（旧南部小学校グラウンド）において防災訓練を実施

○今年度の取り組み予定

○防災訓練の実施

- 北地区（旧有畑小学校）において横浜町総合防災訓練を実施

役場職員・消防署・
消防団の初動訓練



災害対策本部設置訓練



避難誘導・避難所運営訓練

【町民参加型訓練】



初期消火訓練

有畑地区町民で組織した「有畑自主防災会」の方々や多くの参加により実施され、防災意識を高めることができた。